

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市梅園学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字2丁目12番地4
施設規模	敷地面積：2,377.77㎡ 建物面積：314.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市梅園学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字2丁目12番地4 代表者：委員代表 受川 定幸
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年10月6日 2回目 令和7年2月2日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整をし、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の高齢化で要望があったパイプ椅子のカーットの採用、駐車場の整備をし、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
341	2,458	642	6,793	241	2,465						
利用合計						回数		人数			
						1,224		11,716			

(2) 利用状況に対する自己評価

定期利用団体と利用が重なる場合は、学区諸団体にもできる限り可能な時間帯での利用をお願いし、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	13,514
収入 計 (A + B)			811,514
市 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	662,372
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	143,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	6,142
支出 計 (C + D + E)			811,514
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

駐車場の砂利の施工で修繕費超過だったが、他の支出内容の精査により収支の均衡を図れた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利便性のよい清掃器具を購入し、効率の良い清掃ができるようにした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情等は無かったが、要望等を文書でいただけるポストを設置しようと思う。

(※事業報告書と併せてご提出をお願いします。)

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市根石学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市元欠町3丁目20番地
施設規模	敷地面積：653.00㎡ 建物面積：317.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市根石学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市元欠町3丁目20番地 代表者：委員代表 大島 一嗣
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年7月7日 2回目 令和7年2月9日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調査を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

日常清掃に努力した。
 外回りの清掃にも努力した。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
333	2,547	622	6,140	99	1,080						
利用合計						回数		人数			
						1,054		9,767			

(2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用者との連絡を密にし、利用時間調整に心掛けた。
利用スケジュールを玄関ボードに明記し空き状況をわかりやすくして、
利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	52,587
収入 計 (A + B)			850,587
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	647,576
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	83,011
支出 計 (C + D + E)			850,587
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理・消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
外回り手摺修繕を行なった。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

日常的な清掃に加え、ロッカーや押入れ・倉庫の整理清掃を行なった。
図書の整理をし、利用者にわかりやすい配置にした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

常に利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、会議・ご意見箱の設置により利用者との
コミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正管理運営を心掛
けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市井田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字後田 19 番地 5
施設規模	敷地面積： 1,779.95 m ² 建物面積： 466.06 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市井田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字後田 19 番地 5 代表者：委員代表 中根 正和
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令 6. 6. 17. 2回目 令 6. 12. 9.
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
139	1,501	515	6,718	301	2,129	113	519	303	3,870	3	13
利用合計						回数		人数			
						1,374		14,750			

(2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施、使用日時の確認に加え、時間調整も実施し、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	24,139
収入 計 (A + B)			917,139
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	751,943
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	162,400
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	2,796
支出 計 (C + D + E)			917,139
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノート、ご意見箱等を設置して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者ノート、ご意見箱に記入、投稿された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市愛宕学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市伊賀町5丁目121番地2
施設規模	敷地面積：624.52㎡ 建物面積：307.44㎡
指定管理者	名 称：岡崎市愛宕学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市伊賀町5丁目121番地2 代表者：委員代表 水野 達
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないよう確認をした。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、利用者が掃除を行った。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年12月28日 2回目 令和7年3月2日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い、利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛けた。
- ・円滑に運営管理が出来た。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
93	966	410	6,636	232	1,463						
利用合計						回数		人数			
						735		9,065			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用団体と使用日時の確認を行い、時間調整を実施し利用率の向上を図った。
- ・利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくし、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	29,600
収入 計 (A + B)			827,600
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	657,670
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	130,200
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	39,730
支出 計 (C + D + E)			827,600
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・管理費、修繕費を適切に充て収支運営をすることが出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃をお願いした。
- ・手指消毒を設置し感染防止対策を心掛けた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者とコミュニケーションを図り、ニーズ把握に努めた。
- ・図書室のエアコン設置により利用率が上がった。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・マナーやルール違反の利用者には注意をして理解してもらえるようにした。
- ・今後も利用者の意見に耳を傾け、管理運営を心掛けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市広幡学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市広幡町 11 番地 12
施設規模	敷地面積： 907.76 m ² 建物面積： 315.11 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市広幡学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市広幡町 11 番地 12 代表者：委員代表 山本 真裕
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	貝回り等により、施設に異常はないと確認している。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充している。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施している。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年 7月 28日 2回目 令和6年 12月 8日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用を調整を行い、施設の利用率が高まるよう取り組んでいる。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- 利用者の要望の把握や収容状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができている。
 - 木下豊が庭の落ち葉の清掃を定期的にを行うことで環境作りに努めている。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
167	1302	550	6,601	261	2,035						
利用合計						回数		人数			
						978		9938			

(2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを図解ボードにマグネットタクロで明記し、壁紙状紙をわかりやすくして利用率の向上を目標とした。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	675,900
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	122,100
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の小整理、事務用品、清掃用品の購入等に適切に費用を充て収支運営がスムーズだった。

・トイレの電気をLEDに換え、スイッチを人感センサーに変更し、壁に埋め込みにして、消え忘れ等がなくなる様に改善に努めた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、利用者の皆様くには使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

工事をしてからの管理の為、なかなか利用者の方とのコミュニケーションや会話を取ることが出来ず、顔を覚えていたたけなので、少しずつコミュニケーションを増やしていきたい。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・鍵のトラブル等で何度も利用者から連絡を受けた。

・その際は直ちにかけつけ、又対応し、又対策を委員と一斉に考え、利用者の方々に掃除や防災訓練などの際に行い、皆様に快適に利用できる様に努めた。

・今後もコミュニケーションなどを取り、問題などに向き合っていきたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市連尺学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市魚町1丁目4番地
施設規模	敷地面積：1,001.58㎡ 建物面積：315.00㎡
指定管理者	名 称：岡崎市連尺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市魚町1丁目4番地 代表者：委員代表 齋藤 理彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により日常業務として施設に異常がないかチェックした
	通常清掃業務	トイレと玄関を中心に清掃に努め、常に清潔な常置を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類については期限内に提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 2024/9/25 2回目 2025/2/23
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用申請団体と適切に利用調整を行い、平等利用と施設の利用効率向上に努めている
	書類・諸帳簿の管理	期限内に必要な書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の声を常に聞きながら安全安心な施設利用環境の実現に努め、円滑な運営と管理ができた

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
400	3,425	621	9,664	374	3,522						
利用合計						回数		人数			
						1,395		16,611			

(2) 利用状況に対する自己評価

高齢利用者から「階段の手すりが太くて持てないので危ない、何とかして欲しい」との要望があったため、速やかに持ちやすいタイプの手すりに交換したところ、利用団体から早速お礼があった。また検討してきた和室への座敷用椅子を購入した。3月に4脚追加購入するなど利用者の声を聞き利用者サービスの向上に努めることができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	前期剰余金	314,911
収入 計 (A + B)			1,112,911
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	681,000
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	122,800
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	309,111
支出 計 (C + D + E)			1,112,911
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設運営上必要な物品購入に費用を適切に充当し、運営できている。修繕費については2階トイレの便座交換と照明の自動点灯装置をつけ省エネ対策も実施した。また管理費で階段手摺の交換、和室座敷椅子の購入、玄関へのメッセージボードの設置、壊れた演台の修理などに充て、利用者の利用環境の改善に努めることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が快適に気持ちよく利用できるよう管理者の日常点検を徹底し実施している。利用者にも利用後の適宜な清掃の実施を呼びかけし、清潔な利用環境づくりに取り組んでいる。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者からの希望・要望については常に耳を傾け、優先度や必要度を判断し対応してきたことで、特に問題はなかった。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情は特になかった。昨年度懸案要望とした階段手摺については今年度早々に対応した。

またキャスターが壊れかけて移動することができなくなっていた大会議室の演台についても修理をした結果、問題なく使用できるようになった。。

令和 6 年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六名学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市六名南一丁目 2 番地 1
施設規模	敷地面積：.....1,162.88㎡ 建物面積：485.35 ㎡
指定管理者	名 称：岡崎市六名学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市六名南 1 丁目 2 番地 1 代表者：委員代表 浅井...完治
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認を行う。
	通常清掃業務	建物、敷地内外を清掃し、常に清潔な状態を保ち消耗品は適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1 回目 令和 6 年 8 月 23 日 2 回目 令和 7 年 2 月 12 日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行ない、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	定期の報告、必要書類の期限内提出を行い、書類等は適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
- ・利用者から要望の高かった図書室の破損の著しいブラインドの取替えを実施し、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室 2		研修室 (大)		研修室 (小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
16	94	453	5146	86	563	200	1,273	257	2888	192	1,612
利用合計				回数				人数			
				1,204				11,576			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・本館、別館に区分した 1 ヶ月の利用団体予定表を作成して一目で利用状況が把握できるよう掲示し利用者の利便を図った。
- ・代表者会議で年度末に受付した利用者登録願いを取りまとめ、各団体の利用日時の確認、時間調整を行い、各部屋の利用状況を見やすくグラフ化して利用率の向上に心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	78,107
収入 計 (A + B)			971,107
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	604,133
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	185,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	181,974
支出 計 (C + D + E)			971,107
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・ブラインド取替えを実施して修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用日時間変更などの要望を柔軟にして利用者の便宜を図る
- ・気持ち良く利用できるよう美化活動の協力を呼びかけ、環境づくりに努める。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用団体代表者会議を行い、利用規定、心得を説明し積極的にニーズ把握を心がける。
- ・消防訓練時にホームの防火設備、火災報知器、消火器、避難梯子、避難路などを書き込んだ概略図を配布して防火意識の高揚を図る。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行ない理解していただく。
- ・コミュニケーションを図り、気持ちよく利用して頂けるよう管理運営に努めた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市三島学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市明大寺町字池上 28 番地 2
施設規模	敷地面積： 934.02 m ² 建物面積： 323.30 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市三島学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市明大寺町字池上 28 番地 2 代表者：委員代表 米津 眞
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年 6月16日(日) 2回目 令和6年12月 8日(日)
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
- ・開館以来手付かずであった和室の畳の表替えを行い、快適な環境での活動ができるようになったとの喜びの声を利用者から聞くことができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
128	1243	456	4357	213	1960						
利用合計						回数		人数			
						797		7560			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用スケジュールを各利用団体に確認してもらいやすくするために、月毎の利用表をホルダーに入れ玄関掲示板脇に吊り下げ、常に予定を確認できるようにした。
- ・管内の不調個所の修理予定や、利用者への使用方法の改善依頼などを掲示板に掲示し、共通理解を図るようにした。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	28,982
収入 計 (A + B)			826,982
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	577,126
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	187,275
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	62,581
支出 計 (C + D + E)			826,982
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営をすることができた。
- ・和室の畳の表替えを40年ぶりに行い、快適な利用環境を作ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・施設や機器の利用に関して、わかりやすく記した文書を作成し、適正な使用を促した。
- ・運営委員会、利用者団体代表者会、春・秋の管内大掃除・防災訓練の機会を生かし、利用上の留意点の周知徹底を図り成果を上げた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者ノート＝『学区の絆』を設置し、ニーズの把握を心掛けた。
- ・和室の畳の表替えについては、利用者から畳の表面が劣化し痛んできていて、カーペットが必要だが、消防署からの指導との間で苦慮していたことがきっかけになっていて、新しくなったことを喜ぶ声があちこちから聞こえてきて安堵している。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・軽微な苦情・要望等については、即対応できるよう心掛けていて、当日から数日のうちに解決している。
- ・またそのことを掲示板に掲示して情報の共有を図ったところ以前問題となった点についても改善され指摘される苦情も大きく減ってきている。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜美丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市竜美台1丁目5番地2
施設規模	敷地面積：894.73㎡ 建物面積：310.32㎡
指定管理者	名 称：岡崎市_____学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市竜美台1丁目5番地の2 代表者：委員代表 鈴木聖也
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	毎日見回りをし、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	トイレを中心に常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年7月14日 2回目 令和6年10月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	施設貸し出し運用に基づき、適切な利用調整を行い、施設利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管管理している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望に速やかに対応し、収支状況の把握を心掛け、円滑な管理運営ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
323	3,434	708	7,552	168	1,291						
利用合計						回数		人数			
						1,199		12,277			

(2) 利用状況に対する自己評価

施設貸し出し運用の目安に基づき、営利活動と推測される利用団体に施設貸し出し運営条件を提示し見直しができた。
利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくし、利用率の向上を心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	259,521
収入 計 (A + B)			1,057,521
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	571,647
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	219,500
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	266,374
支出 計 (C + D + E)			1,057,521
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・本年度は男女トイレ・湯沸かし室・階段灯のLED電球に交換し、施設内の電球は全てLED電球にすることができた。
・女子トイレのつまり等で修繕費が超過したが、指定管理料内で支払ができた。
・事務用品、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運用ができた

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者とのコミュニケーションをとり、気持ちよく利用できるよう心掛け、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ清潔な環境作りに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートを設置し、ニーズ把握を心掛けた。
利用団体との会議を開催し、お互いの情報交換をし、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないと思います。
利用者ノートの設置、メール、LINE等により、利用者団体との連携を密にして、苦情のないよう、適宜な管理運営を心掛けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市田口町字岩本 10 番地 1
施設規模	敷地面積： 639.73 m ² 建物面積： 227.01 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市常磐南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市田口町字岩本 10 番地 1 代表者：委員代表 柴田 直昭
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見廻り等を実施し、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出した。
	消防訓練実施日	1回目 4月 4日 2回目 3月16日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支を把握し、円滑な運営管理をした。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
130	1,195	307	2,850								

利用合計	回数	人数
	437	4,045

(2) 利用状況に対する自己評価

利用団体と打合せをし、使用日時を調整して利用向上を行った。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	273,751
収入 計 (A + B)			1,024,751
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	575,503
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	167,300
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	281,948
支出 計 (C + D + E)			1,024,751
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう使用後の清掃を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズを把握した。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

マナーやルール違反の利用者に改善をお願いした。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐東学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市米河内町字松森 8 番地 3
施設規模	敷地面積： 969.91 m ² 建物面積： 218.36 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市常磐東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市 米河内町字松森 8 番地 3 代表者：委員代表 山本 正道
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りにより施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 9月12日 2回目 11月5日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応と状況の把握を心掛け、運営と管理ができた

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
46	239	71	740								

利用合計		回数		人数	
		117		979	

(2) 利用状況に対する自己評価

- 示
- ・使用日時の確認、把握に心掛け利用スケジュールを玄関ボードに明記し空き状況の開
 - ・各利用団体名と開始時間を掲示して紹介、利用促進によるPRをしている

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751, 000
	その他収入 (B)	雑収入 前期剰余金 利息	47, 383
収入 計 (A + B)			798,383
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	640, 161
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	96, 700
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	61, 522
支出 計 (C + D + E)			798, 383
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・トイレ、配膳室のLED化を行った
- ・市民ホーム外回りの木、竹伐採作業を順次進めている
- ・草刈りの面積（土手の法面）が広く地元の方々と協力して進めている

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・使用後の確認と清潔な環境づくりに努めた

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者メモを設置してニーズの把握に心掛けた
- ・ヤモリの対応（館内の内、外）網戸、サッシのレールの清掃ができた

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者とのコミュニケーションを密にして苦情の無いよう適正管理運営を心掛けたい

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市滝町字南谷 34 番地
施設規模	敷地面積：1,691.91 m ² 建物面積：315.22 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市常磐学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市滝町字南谷 34 番地 代表者：委員代表 中根 守久
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年8月20日 ✓ 2回目 令和7年2月9日 ✓
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に予約管理を行っている。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

1. 施設の不具合等は可能な限り短時間で修繕・補修を実施しました。
2. 週1回の館内清掃並びに駐車場・外構の落葉の清掃を実施しました。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
189	1708	408	5532	34	169	—	—	—	—	—	—
利用合計						回数		人数			
						631		7409			

(2) 利用状況に対する自己評価

玄関ロビーの掲示板に3ヵ月間の予約状況を表示して空き状況を明確にして利用率の向上に努めました。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	260,172
収入 計 (A + B)			1,058,172
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	653,377
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	59,200
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	345,595
支出 計 (C + D + E)			1,058,172
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度より事務長を担当した為、年間でどの程度の消耗品の消費が有るか把握するのに苦労したが、前年から繰り越された剰余金を使わずに単年度収支は黒字で終わりました。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者へ使用後の清掃をお願いしているので、モップ・ほうき等適切に洗濯・補充し気持ち良く清掃できる様にしました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

新規使用依頼で1グループは営利団体と判断してお断りした。
高齢者の利用が殆どであるが、学校・子供会関連等の使用が増える様、利用者に声掛けし利用増加につなげました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

2F会議室のエアコンの効きが悪いとの苦情が有り追加でフィルタの清掃を行いました。2F会議室はダンスグループの使用が多く、シーズン前1回の清掃では足りない様ですので本年は2回予定します。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市羽根学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市羽根町字池脇26番地3
施設規模	敷地面積 : 1,115.91㎡ 建物面積 : 431.17㎡
指定管理者	名 称 : 岡崎市羽根学区市民ホーム運営委員会 所在地 : 岡崎市羽根町字池脇26番地3 代表者 : 委員代表 杉浦 博
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間 : 令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	利用者の協力を得て、常に清潔な状態を保ち、また消耗品を適切に補充した。
	防火管理	消防訓練、通報訓練の実施と消防署への必要書類の提出
	消防訓練実施日	1回目 令和6年12月28日(土) 2回目 令和7年 2月23日(日)
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、円滑な利用状態につとめた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類の提出、また保管期間を〈5年間〉定め、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・ 毎月の利用状況を月次報告書にまとめている。
 - ・ 運営委員会で報告し、円滑な運営・管理をおこなっている。

2 施設の実施状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
250	2,381	483	6,986	144	1,404	114	1,209	—	—	220	1,148
利用合計				回数				人数			
				1,211				13,128			

(2)利用状況に対する自己評価

高い利用状況のため、ホワイトボードの利用状況板に、2～3週間先の利用状況を明示し、重複利用の発生が生じないように努めた。

3 収支状況

(1)収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	201,388
収入 計 (A + B)			1,094,388
支 出	管理運営費(C)	人件費, 管理費、	945,487
	修繕費 (D)	修繕費 *精算項目	140,046
	その他 (E)	修繕費返還金、当期余剰金等	8,855
支出 計 (C + D + E)			1,094,388
差 引			0

(2)収支状況に対する自己評価

本年度は、事務長の交代があるので、修繕箇所(特に壁紙の破れ、障子の破れなどを透明テープでの修正部分を新しく修繕した。 諸々の物品の値上がりが多く来年度への繰越金がわずかな金額となった。

4 その他の自己評価

(1)利用者へのサービスに対する自己評価

利用者ノートを見て、特にトイレのつまりは自分で対応するが、それでも治らないものは業者に依頼し極力素早く対応している。

(2)利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートおよび利用者団体との会議を通してニーズの把握と対応可能なものへの即対応を心がけた。

(3)苦情対応等に対する自己評価

即応可能な苦情には、対応しているので問題ないと思う。ただし、大がかりな設備や建物の改善は課題と認識している

課題 ①建物の外壁塗装が薄汚れている ②蛍光灯の球切れが多く【設置してから古い】

取替が増加…LED電球に切り替えてほしい。③階段と2階の壁面側に手すりをつけてほしい。

③について、今年度の3月に設置……ありがとうございました。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市小豆坂学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市戸崎町字藤狭13番地16
施設規模	敷地面積：1,549.41㎡ 建物面積：319.50㎡
指定管理者	名 称：岡崎市小豆坂学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市戸崎町字藤狭13番地16 代表者：委員代表 山本 幹彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち 消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し 消火実地を含む消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 令和6年4月18日 2回目 令和6年10月6日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い 施設の利用率が高まるように心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し 適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け
円滑な運営と管理が出来た

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
135	686	464	4,138	199	1,381						
利用合計						回数		人数			
						798		6,205			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記
空き状況を分りやすくして 利用率の向上を心掛けた

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	37,001
収入 計 (A + B)			835,001
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	678,046
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	148,500
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	8,455
支出 計 (C + D + E)			835,001
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修繕 事務用品・消耗品sの購入等に適切に費用を充て
収支運営することが出来た

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の皆様が気持ちよく利用できるよう 使用後の適宜な
清掃への協力を呼びかけ 清潔な環境づくりに努めた

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り ニーズ把握に心掛けた

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用ノート ご意見箱に記入 投稿された意見には
改善できる範囲において速やかに対応した

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市城南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市城南町一丁目5番地3
施設規模	敷地面積：943.99㎡ 建物面積：315.23㎡
指定管理者	名称：岡崎市城南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市城南町一丁目5番地3 代表者：委員代表 殿井 潔香
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	定期的に見回り施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、不足品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 4月13日 2回目 12月14日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望などの対応や収支状況の把握に心掛け、管理がスムーズにできた。
利用者と連絡を取り、円滑な運営に心掛けた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
286	2576	472	7708	156	932						
利用合計						回数		人数			
						914		11,216			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・運営委員会と利用団体との会議を実施し利用率の向上に努めた。
- ・利用スケジュールを玄関黒板に明記し、トラブルのなより心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	29,647
収入 計 (A + B)			827,647
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	636,284
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	140,578
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	50,785
支出 計 (C + D + E)			827,647
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品の購入等に費用を充て収支運営ができた。
- ・本年度は建物の修繕に支出等し支出内容を精査しながらできた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・使用後の清掃を呼びかけ気持ちよく利用できるより努めた。
- ・利用者の利用管理状況を確認しながら協力をあおむねとした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用団体長との会議を開催しニーズ把握を心掛けた。
- ・利用者とのコミュニケーションを図った。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・連絡帳を活用し意見を聞き対応した。
- ・苦情のなより適正な管理運営を心掛けた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岡崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市針崎町字フロ 1 番地 2
施設規模	敷地面積： 2,115.73 m ² 建物面積： 315.43 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市岡崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市針崎町字フロ 1 番地 2 代表者：委員代表 加藤 政幸
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補給した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年11月10日 2回目 令和7年3月1日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用がスムーズに行っている。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
139	1,527	245	4,427	129	1,259	0	0	0	0	0	0

利用合計	回数	人数
	673	7,283

(2) 利用状況に対する自己評価

利用 スケジュールを玄関ボードに明記。
空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	65,044
収入 計 (A + B)			863,044
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	628,254
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	140,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	94,790
支出 計 (C + D + E)			863,044
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に、適切に費用を充て
収支運営することとした。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、使用後の
適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、会議等でも利用者との
コミュニケーションをとり、今後も苦情の無いように管理運営を心掛けた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市福岡学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市福岡町字西市仲 41 番地
施設規模	敷地面積： 1,412.41 m ² 建物面積： 385.06 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市福岡学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市福岡町字西市仲 41 番地 代表者：委員代表 大河内 廣之
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見守り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年8月24日 2回目 令和7年1月18日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要な書類を、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
132	1081	554	6703	203	1243						
利用合計						回数		人数			
						889		9027			

(2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施。使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心がけた。
 利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況を分かりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	678,000
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	0
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	120,000
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の敵宜な清掃への協力を呼び掛け、清潔な環境づくりに努めた。
 施設や機器の利用に関して、わかりやすく記した書面を作成した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用ノート、ご意見箱等を設置して、ニーズ把握を心掛けた。
 利用団体との会議をして、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者のノート、ご意見箱に記入・投稿された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。
 マナー、ルール違反の利用者にその場で理解していただいた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市上地学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市上地三丁目 32 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,129.67 m ² 建物面積： 314.58 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市上地学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市上地三丁目 32 番地 1 代表者：委員代表 杉浦 正司
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	利用団体様の協力もあり常に清潔な状態を保つ事ができた。
	防火管理	消防訓練の実施
	消防訓練実施日	1回目 令和6年1月22日 2回目 令和6年7月25日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、多数の利用があった。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望等への対応等にて運営管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
223	1,729	528	5,558	303	2,344						
利用合計						回数		人数			
						1,054		9,631			

(2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況もわかりやすくして、利用率を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	677,882
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	109,400
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	10,718
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、その他必要な物を購入して適切に費用を充てた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者への清掃、トイレ当番表等明記して協力をお願いした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者からの意見等常に把握に心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・現在苦情等ないが、今後意見等があらわれた際には適切に対応していく。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市男川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大平町字西上野 84 番地 2
施設規模	敷地面積： 573.73 m ² 建物面積： 312.48 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市男川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大平町字西上野 84 番地 2 代表者：委員代表 小林 勇
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年10月9日 2回目 令和7年2月8日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設利用率が高まるように努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望が高かった 障子の張替えを実施し、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
204	1372	338	4573	208	1529						
利用合計				回数				人数			
				750				7474			

(2) 利用状況に対する自己評価

使用日時の確認に加え、時間調整も実施して利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	789517
収入 計 (A + B)			1587517
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	467774
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	79200
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1040843
支出 計 (C + D + E)			1587517
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にもその場で注意を行い、理解しているがいた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市美合学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岡町字上御給 48 番地
施設規模	敷地面積： 1,200.00 m ² 建物面積： 314.89 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市美合学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岡町字上御給 48 番地 代表者：委員代表 水谷 守男
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	日常の見回りで異常箇所等の点検を行った。
	通常清掃業務	毎週土曜日に交代で玄関・トイレ・階段・通路の清掃見回りを実施。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年 5月 9日 2回目 令和6年 12月 14日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用団体と適切に利用調整を行い、施設の利用率が低下しないように調整を心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適正に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用団体の協力もあり大きな混乱もなく運営できた。日程調整も問題なくできスムーズな運営ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
18	156	368	4809	195	1473	—	—	—	—	—	—
利用合計		回数		人数							
		581		6438							

(2) 利用状況に対する自己評価

利用回数は減少したが、利用人数は増加した。
利用スケジュールを玄関の黒板に表示。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798, 000
	その他収入 (B)	雑収入	192, 946
収入 計 (A + B)			990, 946
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	710, 703
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	120, 000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	160, 243
支出 計 (C + D + E)			990, 946
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

維持管理費で草刈り、垣根の選定等を従来通り実施した。また、大掃除の消耗品購入など適切に出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

本年度は早めに利用団体会議を実施し、利用者のトラブル防止に心がけた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体が利用しやすい様に玄関に二ヶ月分の予定表を貼りだし、適切に変更等の調整ができた。新規利用団体もあり日程調整もスムーズに出来た。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

「こどもの家」管理者、利用者と駐車場の問題ではまだ完全な解決策が出来ておらず次年度持ち越しとなってしまった。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市緑丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市美合町字ハケ尻32番地
施設規模	敷地面積： 643.20㎡ 建物面積： 323.81㎡
指定管理者	名 称：岡崎市緑丘学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市美合町字ハケ尻32番地 代表者：委員代表 岡田 明
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態に保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年7月13日 2回目 令和6年12月1日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・従来より消防指摘事項だった排煙窓の操作機構の修理を行い、防災上安全な運営と管理ができた。
- ・収支状況の把握に心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
89	752	550	4,875	269	1,534						
利用合計						回数		人数			
						908		7,161			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用団体との定期会議を実施し、施設の適切な利用をお願いし、建物管理運営に心掛けた。
- ・細かな規則にとらわれず、利用できる団体にはどんどん利用していただき、利用率の向上を心掛けた。
- ・一部利用団体の活動内容を掲示板で紹介し、利用促進 PR を行うことができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	636,410
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	161,590
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・本年度は従来からの消防指摘事項であった排煙窓操作機構の修繕を優先に行い、予定修繕費を超過した。
- ・網戸やフェンスなど懸案の修繕は計画したが、費用と優先順位を考え本年度も未実施となった。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
- ・トイレ当番表を作成して、利用者団体による月2回のトイレ清掃を実施し、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者団体と年2回の利用者会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。
- ・日々の連絡メモを通して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者会議の開催や日々の連絡メモを通して、苦情対応を行った。
- ・苦情内容で、注意喚起する必要があることは館内に掲示し周知した。

(※事業報告書と併せてご提出をお願いします。)

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市生平学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市茅原沢町字上平 6 番地 1
施設規模	敷地面積： 719.03 m ² 建物面積： 315.46 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市生平学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市茅原沢町字上平 6 番地 1 代表者：委員代表 蒲野 富志雄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により異常がなければ確認した。
	通常清掃業務	常にトイレを中心に清潔な状態を保った。
	防火管理	防災訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年11月10日 2回目 令和7年3月31日
施設運営に関する業務	利用関係業務	施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者から快適に利用してもらえるよう、清潔にできた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
78	1049	113	528	201	917						
利用合計						回数		人数			
						392		2494			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。
利用者の増加ができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	78,041
収入 計 (A + B)			876,041
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	624,999
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	130,020
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	121,022
支出 計 (C + D + E)			876,041
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は、和室の出窓のベニヤ貼り替えと、
障子張り替えなど 修繕費を上手く使えることが
できた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

清潔な施設をもっとに清掃をできた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者の方々とその都度コミュニケーションをとった。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

とくに大きな問題はなかった。
電気の消し忘れ、トイレの流し忘れ細々した問題はある。
→ センサーにしようか思案中です。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市秦梨学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市秦梨町字平 39 番地 2
施設規模	敷地面積： 862.00 m ² 建物面積： 218.17 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市秦梨学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市秦梨町字平 39 番地 2 代表者：委員代表 本多 之訓
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	鍵の管理と貸し出し相手の確認
	通常清掃業務	全体に乏しく、便所・トイレの2月に1度の清掃です。
	防火管理	火災の発生はありません。
	消防訓練実施日	1回目 7/5 2回目 5/21
施設運営に関する業務	利用関係業務	1年を通じて、一度も不足の事態はありませんでした。登録の人数が大切に扱われています。
	書類・諸帳簿の管理	間違いなく公平に責任をもって管理しています。

(2) 事業実施に対する自己評価

図書館に申し込んでいるのに、利用する人は年内を通じて私以外に
 1人しかいませんでした。古書の募集は本年度も続行していくつもりです。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
71	550	161	1637	8	16						
利用合計				回数				人数			
				240				1,983			

(2) 利用状況に対する自己評価

「ホウの隣地に公園という広場がありますので」
 幼児を連れて父兄が寒い日などホウのトイレの使用を申請して
 みてもらい、7年度から地元の高齢者等に代表にかかわる事にして
 3 収支状況 使用するトイレに導入する事に決まりました。

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	4,228
収入 計 (A + B)			755,228
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	534,439
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	2,8810
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1874
支出 計 (C + D + E)			758,223
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

「施設の修理、消耗品等に費用を支出して運営できました。」
 計画的にLEDの交換を計りました。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

「利用者みんなが気持ちよく利用出来る様に清潔な環境
 作りにつとめました。」

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

「利用者とのコミュニケーションをとり、ニーズにこたえました。」

(3) 苦情対応等に対する自己評価

「今の所苦情はありませんが、あればすみやかに対応致します。」

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜谷学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桑谷町字1斗目6番地1
施設の規模	敷地面積 :1582.21㎡ 建物面積 :215.38㎡
指定管理者	名 称 : 岡崎市竜谷学区市民ホーム運営委員会 所在地 : 岡崎市桑谷町字一斗目6番地1 代表者 : 委員代表 山本 実鶴
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

業務期間 : 令和6年4月1日～令和7年3月31日

実施事業名	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。 利用者の意見を生かして施設の改善を行った。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。 また、適宜草刈り等を行うことにより、周囲環境整備を行った。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。その際には、地域の防災訓練との連携を図ることにより行った。
	消防訓練実施日	1回目 9月25日 2回目 12月3日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望により、道路脇の樹木の剪定を行った。また玄関ホールのクロス張替え
修繕工事を部分的に実施して活動環境を整え、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
59	651	138	1468	280	426						

利用合計	回数	人数
	477	2545

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかり易くして、利用率の向上を図り、また、地域の活動団体との連携を心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入(A)		751,000
	その他収入(B)	雑収入	13,800
収入 計 (A+B)			764,800
支出	管理運営費(C)	人件費、管理費	561,583
	修繕費(D)	修繕費 ※清算項目	188,611
	その他(E)	修繕費返還金、当期剰余金等	14,606
支出 計 (C+D+E)			764,800
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は玄関ホールのカロス張替え修繕工事を部分的に行ったが、管理費を節約するなど、工夫することによって収支の均衡をはかることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体の一員として活動を行い、参加者から直接意見を聞きつつニーズ把握を心がけた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市藤川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市藤川台三丁目1番8号
施設規模	敷地面積：1,578.10㎡ 建物面積：325.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市藤川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市藤川台三丁目1番8号 代表者：委員代表 安樂 辰雄
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 10月13日 2回目 11月24日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望に対して収支状況の把握を心掛け円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
114	378	115	1259	126	894						
利用合計						回数		人数			
						355		2531			

(2) 利用状況に対する自己評価

年間予定表を設置して、利用者の日程が把握しやすくなり利用者からも喜ばれた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	314,799
収入 計 (A + B)			1,112,799
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	312,105
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	319,660
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	481,034
支出 計 (C + D + E)			1,112,799
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は施設の北側の樹木を伐採した後の抜根と整地で駐車場を整備することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

コピー機や清掃道具等についてわかりやすく記した書面を作成した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者のご意見を聞き、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

改善できる範囲において速やかに対応できた。

令和6年度事業報告書

施設名称	岡崎市 山中学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市山綱町字天神2番地1
施設規模	敷地面積：877.08㎡ 建物面積：315.77㎡
指定管理者	名 称：岡崎市山中学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市山綱町字天神2番地1 代表者：委員代表 明保 芳和
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1)実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を的確に確認した。
	防火管理	年1回実施した。
	防災訓練日	1回目 令和6年 5月12日 2回目 令和6年11月 3日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2)事業実施に対する自己評価

- ・ 昨年同様、利用団体数は減少しました利用回数・利用者数も共に減少し残念である。次年度は、利用団体数・利用者数等の回復を図りたい。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和 室		会 議 室		図 書 室		和 室 2		研究室(大)		研究室(小)	
回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数						
60	899	365	5,300	72	917						

利 用 合 計	回 数		人 数	
	497		7,116	

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・ 利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況を分かりやすくして、施設の利用率向上に心がけました。
- ・ 運営委員会として利用を公平・公正に行うことができ、利用の促進につながりました。
- ・ 新型コロナウイルス5類感染症移行後も防止策として、マスク着用・手指消毒液の使用を来館者にお願いし、対策しました。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	492,930
収 入 計 (A + B)			1,290,930
支 出	管理運営費(C)	人件費、管理費	443,263
	修繕費(D)	修繕費 ※精査項目	121,000
	その他(E)	修繕費返還金	0
		当期剰余金等	726,667
支 出 計 (C + D + E)			1,290,930
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・ 消耗品の購入については、適切に費用を充て収支運営することができた。
- ・ 昨年度施設の修繕費の利用が少なかったが、本年度は、利用枠を有効に使うことができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・ 利用者の皆様が気持ちよく利用できるよう、利用後の適宜な清掃を呼びかけ、環境づくりに務めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・ 利用者ノートを利用して、ニーズ把握に心掛けた。
- ・ 利用者団体との会議を開催して、ニーズ把握に心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・ マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。
- ・ 利用者団体との会議を開催して、苦情対応を行った。

公の施設名称	岡崎市本宿学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市本宿町字古新田 11 番 1
施設規模	敷地面積：1,354.89 m ² 建物面積：445.91 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市 本宿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市本宿町字古新田 11 番地 1 代表者：委員代表 富田 哲也
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 10月27日 2回目 11月2日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調節を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類は提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営と管理ができた
 感染防止の観点から各部屋ごとに消毒セットを置き、こまめな消毒ができるよう努めた

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
137	969	454	4834	408	1361	51	309	479	5102	—	—
利用合計						回数		人数			
						1529回		12575人			

(2) 利用状況に対する自己評価

事務局としてもドア、手すり等の消毒をこまめに実施し感染防止に努めた。
長期利用スケジュールを廊下のボードに貼り空き状況を分かりやすくして利用率の向上を図ることができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	5,074
収入 計 (A + B)			898,074
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	689,952
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	58,032
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	150,090
支出 計 (C + D + E)			898,074
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修繕、事務用品等の購入に適切に費用を充て収支運営することができた。
まだまだ、コロナやインフルエンザの感染防止の観点から消毒液の購入や消毒用の
タオルの洗濯費用が増加傾向にあったが、他の収支内容を精査し収支の均衡
を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

鍵カバンの定位置化の定着を図り、利用の明確化と教室への顔出しがなくなった。
利用者の皆さんが気持ちよく利用できるよう、毎日室内外の清掃に努め清潔な環境
づくりに努力した

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

今年も利用者の代表による一斉清掃を実施し、利用後の清掃の呼びかけができた。
高齢者の増加により玄関での靴の履き替えにも低い椅子を増やし安定して座ったまま
履き替えができるよう定着できた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

年度末の3月に全利用団体に登録と年間利用日の計画を提出してもらい、月ごとに
一年間貼りだし利用日ダブりの防止、利用団体会議において徹底した。
利用にあたり、不都合など要望を聞く機会を設け意見を聞いた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市恵田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市恵田町字三月ヶ入 76 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,680.11 m ² 建物面積： 222.11 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市恵田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市恵田町字三月ヶ入 76 番地 1 代表者：委員代表 柴田 豊
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 2024年7月3日 2回目 2024年11月7日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
27	194	41	881	98	110						
利用合計				回数				人数			
				166				1185			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用マニュアルを玄関ポードに明記。空を状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	16,620
収入 計 (A + B)			767,620
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	636,451
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	130,130
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1,039
支出 計 (C + D + E)			767,620
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度はLEDの交換等を実施して修繕費も超過したが、その他の支出内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、会談、ノート、ご意見箱の設置等により、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岩津学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岩津町字生平1番地1
施設規模	敷地面積：1,609.93㎡ 建物面積：315.00㎡
指定管理者	名称：岡崎市岩津学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岩津町字生平1番地1 代表者：委員代表 岩瀬 正生
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和7年3月10日 2回目 令和7年3月29日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるように掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
198	1,288	599	8,182	278	1,889						
利用合計						回数		人数			
						1,075		11,359			

(2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	81
収入 計 (A + B)			798,081
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	670,264
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	127,817
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	
支出 計 (C + D + E)			798,081
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・マナー、ルール違反の利用者に対し、その場で注意を行い、理解していただいた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大樹寺学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18
施設規模	敷地面積： 436.41 m ² 建物面積： 306.39 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市大樹寺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18 代表者：委員代表 浅井 誠司
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 2024年5月19日(日) 2回目 2024年11月24日(日)
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、利用者の希望に応接できた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

「利用者への要望の対応や相談に耳をかたづけ、喜んで利用できる様に
対応・運営・管理ができた。」

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
79	987	549	7528	167	1429	/	/	/	/	/	/
利用合計						回数		人数			
						795		9948			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・運営会議を行いよりよい利用について話し合った。
- ・急な時間や日時の変更にも応接している。
- ・利用スケジュールを玄関ボードに明記して使用状況が分かる様にしている。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	62,249
収入 計 (A + B)			860,249
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	683,637
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	102,400
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	74,212
支出 計 (C + D + E)			860,249
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品、消耗品等費用を全て収支運営することができた。
- ・本年度は、ラインダーの交換を実施して利用しやすくした。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・仮の収納ラックを新設して利用者のニーズに応えた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者と会議をして意見を聞いた。
- ・利用線などでコミュニケーションを図っている。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・今の所苦情はないが 今後もし苦情のない気持ちよく利用しやすいホームになる様運営を心がけた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大門学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大門四丁目7番地15
施設規模	敷地面積：763.11㎡ 建物面積：316.63㎡
指定管理者	名称：岡崎市大門学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大門四丁目7番地15 代表者：委員代表 天野 正和
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	LED照明の切れを素早く取り替え対応した。
	通常清掃業務	定期的にトイレ、階段、廊下を清掃し、トイレトペーパーの補充をした。
	防火管理	利用時のみガス開栓を行い、消防訓練を行った。
	消防訓練実施日	1回目 7月5日 2回目 12月21日
施設運営に関する業務	利用関係業務	早めに利用調整を行い利用者のバッシングを避けた。
	書類・諸帳簿の管理	書類提出時にはコピーを取り適正に保管した。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者のクレームが出る前に注意深く管理し、先取して修理、整備を行なった。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
185	2416	323	5644	240	2334						

利用合計	回数	人数
	748	10,394

(2) 利用状況に対する自己評価

利用状況をホワイトボードでオープンにし利用者の利便を計った

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	186,027.
収入 計 (A + B)			984,027.
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	701,659.
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	132,126.
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	150,242.
支出 計 (C + D + E)			984,027.
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

管理運営費、修繕費のバランスを考え、優先順位を考慮して改善をした。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

申し込み順を守り、公的利用、社教団体を優先させた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用目的を適確に調査し、広く利用者のニーズに応える様にした。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情は必ずあるので、それを最優先に素早く処理対応した

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市 奥殿学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市奥殿町字石飛61番地2
施設規模	敷地面積：1,610.81㎡ 建物面積：218.69㎡
指定管理者	名称：岡崎市奥殿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市奥殿町字石飛61番地2 代表者：委員代表 清水 篤実
指定期間	平成3年 4月 1日 ～ 令和8年 3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施内容 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	定期的に施設の内外の見回りをして、異常の有無を点検した。
	通常清掃業務	常に清潔に努めた。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年2回実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年10月16日 2回目 令和7年3月27日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用されることに努めた。
	書類・諸帳簿の管理	諸帳簿は適切に記録し、保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望の対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
42	417	216	3143	49	657						

利用合計	回数		人数	
	307		4217	

(2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体と連絡調整を図り、利用効率の向上に心がけることができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751.000
	その他収入 (B)	雑収入	7.400
収 入 計 (A+B)			758.400
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	641.300
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	100.400
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	16.700
支 出 計 (C+D+E)			758.400
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

それぞれの項目について、ほぼ適正かつ有効に支出することができた。年度末に蛍光灯取り替えが必要となったため、修繕費が予算をオーバーした。。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の方々が気持ちよく利用できるよう、利用後の清掃等の協力を依頼し、清潔な環境づくりをすることができた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者団体と必要に応じ、連絡調整を図り、要望を把握することができた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情は皆無に等しかったが、苦情が出ないように配慮することができた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市細川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市細川町字長原111番地1
施設規模	敷地面積： 1,104.72...㎡ 建物面積：383.23 ㎡
指定管理者	名 称：岡崎市細川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市細川町字長原111番地1 代表者：委員代表 近藤勝男....
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	諸団体・地域の日々最終使用後確認及び見周り等に異常がないか確認している。
	通常清掃業務	ホール・トイレ・玄関常に清潔状況を保ち消耗品は適切に補充しています。
	防火管理	年2回の消防署書類提出実施した。
	消防訓練実施日	1回目 3月14日 2回目 3月28日
施設運営に関する業務	利用関係業務	各諸団体・地縁団体利用者に利用調整及び理解活動を推進した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類の提出し市民ホーム・育成・こどもの家項目を分け適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望で会議室のドアガラス割れ・和室床修理等が実施出来収支状況を心掛け運営と管理が出来た。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
183	1864	654	9475	57	454	39	229				
利用合計				回数				人数			
				933				12022			

(2) 利用状況に対する自己評価

毎月利用状況が分かりやすくボードに掲示し利用者に利用状況が一目で分かる様にし利用率の向上に心掛けた（利用者には変更内容・日時を早め 1～2 週間前に連絡する。備品の管理棚を設け一目で在庫が分かるようにした。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	660,152
収入 計 (A + B)			1,458,152
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	402,000 103,077
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	124,080
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	828,995
支出 計 (C + D + E)			1,458,152
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理事議室の机修理・ドアガラス割れ、和室の床修理など修理費を活用して適切に費用を充て収支運営する事が出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の使用後気がついた事は、諸団体・地縁団体にフィードバックし気持ち良く利用してもらえる様に清潔に保ち応えたい。

今後は、備品等破損したときに、申し出し易い雰囲気をも更に諸団体と築いて行きたい。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

施設の備品修理購入費用に充て利用者の要望に対応

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者に日時や使用出来なくなった内容を諸団体・地縁団体に早めの連絡に心掛け対応する様 にしており諸団体・地縁団体の各団体の理解を今以上に推進する。

(※事業報告書と併せてご提出をお願いします。)

令和 6 年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作東学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市矢作町加護畑 65 番地 1
施設規模	敷地面積：865.66 m ² 建物面積：357.89 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市矢作東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市矢作町加護畑 65 番 1 代表者：委員代表 長友 泰朗
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施工に異常がないか確認した。 設備（給湯器、ライト、机、椅子等）の保守実施
	通常清掃業務	館内外の大掃除を実施（年 2 回夏・冬）
	防火管理	常日頃から防火管理を徹底している。
	消防訓練実施日	1 回目 7 月 28 日 2 回目 12 月 1 日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けている。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者から要望の高かった和室の椅子を購入し、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室 2		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
411	3,369	556	7,652	87	819						
利用合計						回数		人数			
						1,054		11,840			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用者からの苦情・要望を取り入れ安心・安全に使用して頂けた。
二階のトイレのドアが壊れて閉まらず修理をして感謝されました。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	1,558,237
収入 計 (A + B)			2,356,237
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	464,073
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	178,230
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1,713,934
支出 計 (C + D + E)			2,356,237
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

支出を十分抑え剰余金を積み立てることが出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

和室を利用される方が高齢のため椅子を買い利用者に喜ばれました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

二階ホール、使用時に仕切り扉がなかなか閉まらず寒い思いをされた方がみえたので常に閉めておくようにしました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情はほとんど無かったが些細な事もしっかり受け止めて対応をしました。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作北学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字牛転 35 番地
施設規模	敷地面積： 1,167.05 m ² 建物面積： 466.32 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市矢作北学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市橋目町字牛転 35 番地 代表者：委員代表 望月 厚芳
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常があるか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保持、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年11月28日 2回目 令和7年2月23日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるように心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛けた。
円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況 ※「和室」と「図書室」の「放課後児童預かり室」のみの除外。

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
		432	7,156			88	483	316	3,405	233	1,232
利用合計		回数		人数							
		1,069		12,276							

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールと交関に見直し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	272,821
収入 計 (A + B)			1,165,821
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	534,030
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	48,016
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	583,775
支出 計 (C + D + E)			1,165,821
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切な費用を充て、収支運営が滞りなく行われていた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

施設や機器の利用に関して、わかりやすく記入した書面を作成している。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者との積極的なコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

マニュアル違反の利用者に対する場合、注意を行い、理解していた。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市 北野学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市 橋目町字家下1番地1
施設規模	敷地面積：1,048.00㎡ 建物面積：319.66㎡
指定管理者	名 称：岡崎市 学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市 橋目町字家下1番地1 代表者：委員代表 本田 敏樹
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設を見回り問題点、異常の無いことを確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品は適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、避難訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年 6月 8日(土) 2回目 令和6年12月 7日(土)
施設運営に関する業務	利用関係業務	予定表を表示し適切に利用調整し、利用者が効率的に使用できるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を期日までに提出し、適切に保管した。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望に適切に対処（会議室の蛍光灯の取替、コロナ対応のアルコール液の設置補充、高圧洗浄機による外壁洗浄、市民ホーム周囲の除草等）

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
440	3,313	389	5,115	187	1,185						
利用合計						回数		人数			
						1,016		9,613			

(2) 利用状況に対する自己評価

各団体の利用者を予約表に記載し玄関ロビーに表示し各部屋の空き状況を明確にしたことで不定期利用者の利用率の向上を図った。また、学区の総会、行事の実行委員会等についても譲り合いの精神で効率よく各部屋を利用することができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000円
	その他収入 (B)	雑収入	177,419円
収入 計 (A + B)			975,419円
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	473,615円
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	314,215円
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	187,589円
支出 計 (C + D + E)			975,419円
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は前年度に引き続き2階会議室一部照明を LED に取替たことによる修繕費及び w if I 設備の導入による使用料の支出が増加したが、消耗品、事務用品の購入は効率化を図り収支運営することができた。

また、当期剰余金は次年度も引き続き未実施の会議室一部、トイレ、湯沸室等の LED 化を実施する費用に充てる。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう使用後の清掃の協力の呼びかけ。年2回の消防訓練時に各利用団体による定期清掃を実施した。

土、日曜日に小学校 PTA の協力により清掃を実施した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用記録表に要望事項、不具合状況を記入してもらい、適切に対応した。

常に利用者とのコミュニケーションを図りニーズ把握、こちらからの要望を伝えた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

意見、要望内容を把握し改善できる点は速やかに実施、無理な点は説明し理解を得た。

ルール違反、マナー違反に対して毅然とした対応をした。

令和 6 年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作南学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大和町字西島57番地1
施設規模	敷地面積：938.16㎡ 建物面積：481.32㎡
指定管理者	名 称：岡崎市矢作南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大和町字西島57番地1 代表者：委員代表 江坂 進
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年5月26日 2回目 令和6年9月22日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
119	1,176	445	5,443			40	312	205	3,338	208	1,174
利用合計						回数		人数			
						1,017		11,443			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	230,427
収入 計 (A + B)			1,123,427
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	782,732
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	290,730
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	49,965
支出 計 (C + D + E)			1,123,427
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は湯沸器の交換やエアコン昇降パネルの交換等を実施して修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより支出の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

ご意見箱を設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、ご意見箱の設置等により利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市下青野町字井戸尻 87 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,549.00 m ² 建物面積： 422.00 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市下青野町字井戸尻 87 番地 1 代表者：委員代表 野田 保男
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年2回実施した
	消防訓練実施日	1回目：令和6年9月22日 2回目：令和6年10月27日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、実施の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や支出状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
268	5,288	490	6,626	0	0	129	1309	312	3,053	0	0

利用合計	回数	人数
	1,199	16,276

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールをホワイトボードに明記した。
空き状況を分かりやすくして、利用率の向上に心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)	利息	893,000
	その他収入 (B)	雑収入 利息 (利息¥61)	13,354
収入 計 (A + B)			906,354
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	713,496
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	168,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	24,858
支出 計 (C + D + E)			906,354
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、清潔な環境作りに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情があれば、速やかに対応した。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市井内町字風見7番地3
施設規模	敷地面積：706.48㎡ 建物面積：318.08㎡
指定管理者	名 称：岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市井内町字風見7番地3 代表者：委員代表 堺 義和
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がかな確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 令和6年4月6日 2回目 令和6年9月14日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
220	1,685	672	11,930	242	1,473	0	0	0	0	0	0
利用合計						回数		人数			
						1,134		15,088			

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記して、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	187,495
収入 計 (A + B)			985,495
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	593,811
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	137,974
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	253,710
支出 計 (C + D + E)			985,495
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
自分たちでできる修理等は業者に頼らず自前で行ったため予算は超過したが、他の収支内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。
玄関ホールの蛍光灯の本体が劣化してすぐに点灯しない時があり LED に交換した。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、施設や備品の利用に関して、わかりやすく表記した書面を作成し掲示をした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解をいただいた。

令和6年度 事業報告

公の施設名称	岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市赤沢町字道本23番地1
施設規模	敷地面積：1,328.00 m ² 建物面積：314.70 m ²
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市赤沢町字道本23番地1 代表者：委員代表 兵藤 一則
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないかを確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	火元責任者の表示を各部屋入口に添付した。 必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和6年10月18日 2回目 令和7年2月16日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和 室		会議室		図書室		和室2		研究室(大)		研究室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
71	842	837	9,634	216	2,357						

利用合計	回数	人数
	1,124	12,833

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・運営委員会と利用団体との定期会議を実施し、使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。
- ・利用スケジュールを玄関のホワイトボードに明記し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	365,095
収 入 計 (A+B)			1,163,095
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	886,643
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	31,610
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	244,842
支 出 計 (C+D+E)			1,163,095
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品・消耗品の購入等に、適切に費用を充て収支運営することができた。
- ・本年度は、お座敷チェアの購入、照明設備改修工事、湯沸室引き戸車の交換を実施した。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、毎朝パブリックスペースの清掃等、清潔な環境づくりに務めた。
- ・合言葉「利用する前よりもきれいにして帰る」

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・ご意見箱を設置して、ニーズ把握を心掛けた。
- ・利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・今のところ苦情はないが、会議、ご意見箱の設置等により、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないように適正な管理運営を心掛けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市中島東町2丁目56番地1
施設規模	敷地面積：417.00㎡ 建物面積：315.46㎡
指定管理者	名 称：岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市中島東町2丁目5番地1 委員代表 浅井 敏保
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設内外に異常が無いか確認
	通常清掃業務	常に清潔な状態に保ち、消耗品等を適切に補充
	防火管理	必要書類を提出のうえ、年2回実施
	消防訓練実施日	1回目：令和6年8月24日 2回目：令和6年12月21日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率向上に努めた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用要望への対応や収支状況の把握に努め、円滑な運営管理が出来た
- ・災害発生時に避難施設となる場合を念頭に、防災備蓄品及び装備品を計画的に準備

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
126	1141	514	5019	349	1460						
利用合計						回数		人数			
						989		7620			

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・ 総代会及び社教団体(公的団体)の年間優先予約を受け付け、一般登録団体との予約トラブル防止に努め、円滑な利用調整を実施
- ・ 利用予定をボードに明示し、空き状況を見える化して、利用率向上に努めた

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	116,535
収入 計 (A + B)			914,535
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	642,370
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	183,840
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	88,325
支出 計 (C + D + E)			914,535
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・ 施設の修繕、事務用品及び消耗品等に適切は費用を充て、収支運営ができた
- ・ 防災関連備品及び装備品の計画的な費用充当もできた

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・ 下駄箱(スリッパ)の整頓返却の協力を呼びかけて、次の利用者が気持ちよくできるよう努めた
- ・ コピー機の設置環境改善を実施し、利用者の使用をし易くした

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・ 利用団体とのコミュニケーションに努め、ニーズの把握に努力した
- ・ 女子トイレの衛生用品の補充に努めた
- ・ お役立ち情報の掲示を都度実施した

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・ 施設利用に関する苦情等は特になし
- ・ 保育園行事の際は、原則休館時間帯を設けて、事故やトラブルの防止に努めた

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市豊富学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市榎山町字山ノ神 10 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,450.00 m ² 建物面積： 718.16 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市豊富学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市榎山町字山ノ神 10 番地 1 代表者：委員代表 鈴木 勝彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	業者委託の運営委員による清掃を月4回以上実施した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 2025.2.22 2回目 2025.3.29
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高くなるよう努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者要望への対応や収支状況の把握に努め、円滑な運営と管理がとれた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
146	1,256	821	1,049	10	40						
利用合計						回数		人数			
						977		11,745			

(2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施。使用日時の確認に加え、時間調整を実施して利用率の向上を心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	97,852
収入 計 (A + B)			990,852
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	752,580
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	140,800
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	97,472
支出 計 (C + D + E)			990,852
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修繕事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の通達は清掃への協力をお願い、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心がけた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、会議、意見アヒアヒス箱の設置等により、利用者とのコミュニケーションを密にして、適正な管理運営を心がける。

令和 6 年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市宮崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市宮崎町字亀穴 33 番地
施設規模	敷地面積： 1,036.24 m ² 建物面積： 275.62 m ²
指定管理者	名 称：岡崎市宮崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市宮崎町字亀穴 33 番地 代表者：委員代表 真木 保彦
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

業務期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設が適正に利用されているか、巡回見回りをし異常の有無を点検確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保つよう定期的に清掃を実施。また、関係する消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施（年 2 回）した。
	防火訓練実施日	1 回目 令和 6 年 10 月 25 日 2 回目 令和 7 年 3 月 7 日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管管理している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者・利用団体の要望への対応や、収支状況の把握に心掛け、円滑な管理運営ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		中会議室		図書室		和室 2		大会議室		小会議室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
—	—	144	1,110	—	—	—	—	401	4,620	27	167

利用合計	回数	人数
	572	5,897

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用スケジュールを玄関のボードに明示した。
- ・空き状況を判りやすく開示し、利用率の向上を心掛けた。
- ・新型コロナは5類に移行したが、コロナ・インフルエンザ対策として消毒液を準備し手の消毒、マスク着用等をお願いし協力してもらえた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入及び前期剰余金	742,407
収入 計 (A + B)			1,493,407
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	954,809
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	116,600
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	421,998
支出 計 (C + D + E)			1,493,407
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・人件費、事務費、管理費は適正に収支運営することができた。
- ・コピー機に係るランニングコストが高いため、プリンターを設置し経費の節約に努めている。
- ・施設が新しく、利用者が大切に使用しているため修繕費の発生はない。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者の皆さんが気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃が習慣化できるよう協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
- ・不審者対策等の強化のため、夜間における市民ホーム利用中に玄関を施錠し、呼び出しチャイムを設置したことで、安心して夜間の利用ができる環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者からの要望・苦情等には、その都度現地にて実情を把握し、改善できる範囲に於いて速やかに対応した。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市形埜学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桜形町字福塚3番地
施設規模	敷地面積：2570.47㎡ 建物面積：299.58㎡
指定管理者	名 称：岡崎市形埜学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市桜形町字福塚3番地 代表者：委員代表 荻野 保夫
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	通報訓練・防災訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 2月15日 2回目 2月19日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、利用が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営・管理ができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		大会議室		第一会議室		第二会議室		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
		291	3883	185	1425	22	143				
利用合計		回数		人数							
		498		5451							

(2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記、空き状況をわかりやすくして
利用の向上に努めた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入 (前期剰余金・利息)	195,060
収入 計 (A + B)			946,060
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	607,957
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	73,700
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	264,403
支出 計 (C + D + E)			946,060
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理・事務用品の購入等に適切に費用を当て、収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう使用後の清掃への協力を呼びかけ、
清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はない。
今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和6年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市下山学区市民ホーム
施設の設置目的 役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市保久町字中村72番地1
施設規模	敷地面積：1,241.21m ² 建物面積：254.07m ²
指定管理者	名 称：岡崎市下山学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市保久町字中村72番地1 代表者：委員代表 遠山 正
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

- 事業の実施状況

実施状況

業務機関：令和6年4月1日～令和7年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	事務長による施設の保守点検の実施者による保守管理
	通常清掃業務	事務長による 学区内老人クラブへ業務委託
	防火管理	防火管理者（事務長）による施設内防火管理業務並びに防災訓練の実施（9/15、2/12実施）
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用者は利用簿（備付）に記入 年間利用予定の管理（事務長）
	書類・諸帳簿の管理	事務長により管理

(2) 事業実施に対する自己評価

施設の環境保持に努め、滞りなく事業を実施できた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	和 室 (山側2間)		会議室 (大広間)		図書室 (山側会議室)		計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	7	131	2	10	9	141
5月	0	0	3	41	0	0	3	41
6月	0	0	3	43	1	18	4	61
7月	0	0	4	90	0	0	4	90
8月	0	0	2	49	0	0	2	49
9月	0	0	3	42	0	0	3	42
10月	0	0	1	7	1	8	2	15
11月	0	0	4	54	0	0	4	54
12月	0	0	3	44	0	0	3	44
1月	0	0	4	54	1	3	5	57
2月	0	0	4	67	2	11	6	78
3月	0	0	6	78	1	9	7	87
計	0	0	44	700	8	59	52	759

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・ 月毎の利用予定を事務室掲示板並びに、事務長宅備え付けの利用予定表にて施設利用希望者並びに利用予定の迅速な受け入れを心がけた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		751,000-
	その他収入(B)	雑収入	422,242-
収入 計(A+B)			1,173,242-
支 出	管理運営費(C)	人件費,管理費	481,497-
	修繕費(D)	修繕費 ※清算項目	99,660-
	その他(E)	修繕費返還金、当期剰余金等	592,085-
支出 計(C+D+E)			1,173,242-
差 引			0-

(2) 収支状況に対する自己評価

人件費及び管理費並びに修繕費について満遍なくバランス良く支弁することができた。

修繕費について…和室の障子張り替え工事の実施

施設敷地外の法面補修工事

駐車場マンホール周辺の段差解消

4 その他自己評価

・ 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の要望する物品の購入をはじめ、施設利用管理も滞りなくできている。

これまで定期的に利用されていた方々が、高齢及び病気等により施設の利用数が激減している。当学区内には当施設以外にも複数の利用施設が存在することから、当施設の更なる利用促進が課題となっている。

・ 利用者のニーズ把握に対する自己評価

人口の少ない学区であるが故に、利用者と事務長間でのコンセンサス保持に努めていることから利用者からのニーズは迅速に把握する環境を整えることができています。

・ 苦情対応等に対する自己評価

苦情は見受けられないため、特になし。